

社会資本総合整備計画

準用河川一色川浸水対策の推進(防災・安全)

平成 29 年 4 月 3 日

神奈川県藤沢市

社会資本総合整備計画

平成29年4月3日

計画の名称		準用河川一色川流域浸水対策の推進（防災・安全）										重点配分対象の該当													
計画の期間		平成29年度～平成33年度（5年間）					交付対象		藤沢市																
計画の目標		都市課の進展や、近年の局地的・突発的な集中豪雨に対し、市内全域の総合的な浸水対策を実施し、災害に強い街づくりを図る。																							
計画の成果目標（定量的指標）		①準用河川一色川流域の氾濫防止面積を、5.39ha(H29)から4.82ha(H33)に減少させる。																							
定量的指標の定義及び算定式												定量的指標の現況値及び目標値		備考											
							当初現況値 (H29当初)		中間目標値			最終目標値 (H33末)													
①氾濫防止面積 (ha)							5.39ha		-			4.82ha													
全体事業費		合計 (A+B+C+D)		977百万円		A		977百万円		B		0百万円		C		0百万円		D		0百万円		効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)		0.0%	
交付対象事業																									
A1 河川事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H29	H30	H31	H32	H33												
A1-1	河川	一般	藤沢市	直接	-	総合流域防災事業（準用河川一色川）	L=480m、護岸	藤沢市						977	1.16										
													合計					977							
B 関連社会資本整備事業（該当なし）																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考								
									H29	H30	H31	H32	H33												
													合計					0							
C 効果促進事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H29	H30	H31	H32	H33												
													合計					0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									
C-1	地域の意見を反映し、地域と連携した効果的な中心市街地の再生を推進する。																								
C-2	空き店舗の改修（A-3）にあわせ、地域のニーズにあった魅力ある商業サービスの展開を図る。																								
C-3	市街地再開発事業（A-2）の保留床を取得し、地域の歴史・文化を発信する拠点を形成する。																								
C-4	バス走行空間の改善（A-3、A-4、A-6）に合わせ、中心市街地の循環バスを整備し、中心市街地の移動利便性の向上を図る。																								
C-5	公共空間を有効に活用し、周辺商業施設と一体となったにぎわいを創出する。																								
D 社会資本整備円滑化地籍整備事業																									
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考										
									H29	H30	H31	H32	H33												
													合計					0							
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考									
1-D1	〇〇事業(1-〇〇)に先行して、土地の権利関係を明確にすることにより、事業の円滑な実施を図る。																								

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	R01	R02	R03
配分額 (a)	6	9	9	14	
計画別流用 増△減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	6	9	9	14	
前年度からの繰越額 (d)	0	0	0	7.2	
支払済額 (e)	6	9	1.8	21.2	
翌年度繰越額 (f)	0	0	7.2	0	
うち未契約繰越額 (g)	0	0	7.2	0	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.0%	0.0%	80.0%	0.0%	
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	-	-	用地取得、 補償につい て地権者と の交渉を継 続して行っ ているため	-	

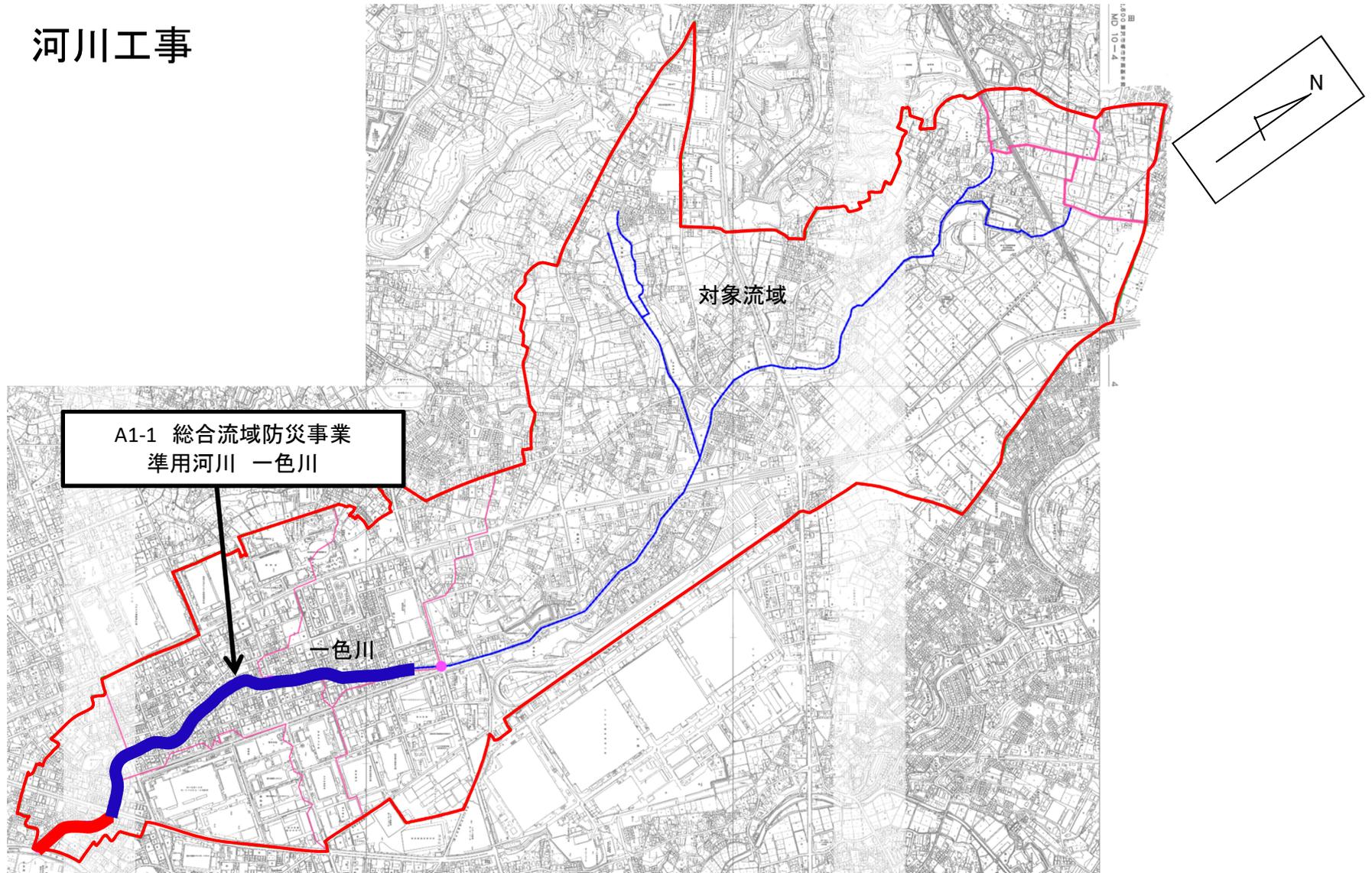
計画の名称 1 準用河川一色川浸水対策の推進(防災・安全)

計画の期間 平成29年度 ~ 平成33年度 (5年間)

交付対象

神奈川県 藤沢市

河川工事



社会資本整備総合交付金チェックシート

(汎用タイプ)

計画の名称: 準用河川一色川流域浸水対策の推進(防災・安全)

事業主体名: 神奈川県 藤沢市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①上位計画等との整合性	✓
②地域の課題への対応(地域の課題と整備計画の目標の整合性)	✓
II. 計画の効果・効率性	
①整備計画の目標と定量的指標の整合性	✓
②定量的指標の明瞭性	✓
③目標と事業内容の整合性	✓
④事業の効果(要素事業の相乗効果等)の見込みの妥当性	✓
III. 計画の実現可能性	
①円滑な事業執行の環境(事業熟度、住民等の合意形成等を踏まえた事業実施の確実性)	✓
②地元の機運(住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性)	✓